

ラムサール条約の概要

ラムサール条約採択経緯

正式名称：特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約
(Convention on Wetlands of International Importance Especially as Waterfowl Habitat)

1971年にイラン、ラムサールにおいて同国政府主催で開催された「湿地及び水鳥の保全のための国際会議」において「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」が採択された。この条約は開催地にちなみ一般に「ラムサール条約」と呼ばれる。同条約は第10条の規定により、7か国が締約国になってから4か月後の1975年12月21日に発効した。

ラムサール条約の内容

この条約は、特に水鳥の生息地等として国際的に重要な湿地及びそこに生息・生育する動植物の保全を促進することを目的とし、各締約国がその領域内にある湿地を1ヶ所以上指定し、条約事務局に登録するとともに、湿地及びその動植物、特に水鳥の保全促進のために各締約国がとるべき措置等について規定している。**2012年5月現在、締約国160か国、登録湿地数2,006か所、その合計面積は約193百万haに及ぶ。**(→cf. <http://www.ramsar.org/>)

我が国の加入・登録湿地現状

我が国は、1980年6月17日に本条約寄託先のUNESCOに加入書を寄託し、条約第10条の規定に基づき、その4ヶ月後の同年10月17日に締約国となった。その際、我が国は釧路湿原をラムサール条約湿地として指定し、条約事務局に登録した。**我が国の湿地登録数は、2012年5月現在、37か所、面積合計 131,027 ha。**(→次ページ参照)

環境省では、2010年9月にラムサール条約湿地の登録を推進するため、ラムサール条約湿地としての国際基準を満たすと認められる湿地(潜在候補地)を全国から172ヶ所を選定した。そのうち、地元自治体等から登録への賛意が得られ、国内法による保護担保措置の確保が整ったものから、締約国会議の機会にラムサール条約湿地への登録に係る作業を進めていく。

過去の締約国会議

締約国は3年ごとに締約国会議を開催し、条約の実施等について協議する。締約国会議の開催状況は、以下のとおり。

第1回	1980年	イタリア・カリアリ	第7回	1999年	コスタリカ・サンホセ
第2回	1984年	オランダ・フローニンゲン	第8回	2002年	スペイン・ヴァレンシア
第3回	1987年	カナダ・レジャイナ	第9回	2005年	ウガンダ・カンパラ
第4回	1990年	スイス・モンレー	第10回	2008年	韓国・昌原(チャンウォン)
第5回	1993年	日本・釧路	第11回	2012年	ルーマニア・ブカレスト
第6回	1996年	オーストラリア・ブリズベン			(予定)

登録湿地の要件

我が国は、次の条件を満たしている湿地を登録している。

- ① 国際的に重要な湿地であること(条約で示された基準のいずれかに該当すること)
- ② 国の法律(自然公園法、鳥獣保護法など)により、将来にわたって、自然環境の保全が図られること
- ③ 地元自治体などの登録への賛意が得られること

我が国の登録湿地

釧路湿原（北海道）	7,863 ha	1980年 6月17日登録
伊豆沼・内沼（宮城県）	559 ha	1985年 9月13日登録
クツチャロ湖（北海道）	1,607 ha	1989年 7月 6日登録
ウトナイ湖（北海道）	510 ha	1991年12月12日登録
霧多布湿原（北海道）	2,504 ha	1993年 6月10日登録
厚岸湖・別寒辺牛湿原（北海道）	5,277 ha	同 上
谷津干潟（千葉県）	40 ha	同 上
片野鴨池（石川県）	10 ha	同 上
琵琶湖（滋賀県）	65,984 ha	同 上
佐潟（新潟県）	76 ha	1996年 3月23日登録
漫湖（沖縄県）	58 ha	1999年 5月15日登録
宮島沼（北海道）	41 ha	2002年11月18日登録
藤前干潟（愛知県）	323 ha	同 上
雨竜沼湿原（北海道）	624 ha	2005年11月 8日登録
サロベツ原野（北海道）	2,560 ha	同 上
濤沸湖（北海道）	900 ha	同 上
阿寒湖（北海道）	1,318 ha	同 上
風蓮湖・春国岱（北海道）	6,139 ha	同 上
野付半島・野付湾（北海道）	6,053 ha	同 上
仏沼（青森県）	222 ha	同 上
蕪栗沼・周辺水田（宮城県）	423 ha	同 上
奥日光の湿原（栃木県）	260 ha	同 上
尾瀬（福島県、群馬県、新潟県）	8,711 ha	同 上
三方五湖（福井県）	1,110 ha	同 上
串本沿岸海域（和歌山県）	574 ha	同 上
中海（鳥取県、島根県）	8,043 ha	同 上
宍道湖（島根県）	7,652 ha	同 上
秋吉台地下水系（山口県）	563 ha	同 上
くじゅう坊ガツル・タデ原湿原（大分県）	91 ha	同 上
藪牟田池（鹿児島県）	60 ha	同 上
屋久島永田浜（鹿児島県）	10 ha	同 上
慶良間諸島海域（沖縄県）	353 ha	同 上
名蔵アンパル（沖縄県）	157 ha	同 上
大山上池・下池（山形県）	39 ha	2008年10月30日登録
化女沼（宮城県）	34 ha	同 上
瓢湖（新潟県）	24 ha	同 上
久米島の溪流・湿地（沖縄県）	255 ha	同 上
大沼（北海道）	1,236 ha	2012年 7月登録予定
渡良瀬遊水地	2,861 ha	同 上
（茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県）		同 上
立山弥陀ヶ原・大日平（富山県）	574 ha	同 上
中池見湿地（福井県）	87 ha	同 上
東海丘陵湧水湿地群（愛知県）	23 ha	同 上
円山川下流域・周辺水田（兵庫県）	560 ha	同 上
宮島（広島県）	142 ha	同 上
荒尾干潟（熊本県）	754 ha	同 上
与那覇湾（沖縄県）	704 ha	同 上

計 37ヶ所 131,027 ha (H24.5現在)

46ヶ所 137,968 ha (COP11後予定)